

農業塾

風・水・土を知り、自然を守り育む百姓を目指して

受講生
募集中

申込み〆切 4月30日
ボランティアスタッフ同時募集

田んぼには、お米を生産するだけでなく、小さな生き物の生息場所や美しい里山景観の保全、昔ながらの伝統文化を継承する場等、様々な役割があります。

一方、犬山には利用されずに眠っている農地が多くあります。このような農地を活用し、地域の環境をよくするためにも、自然環境に理解がある百姓を育てることが重要です。

一年の稲作農業を通じて、四季や自然、文化を感じながら、農業の生産～販売までを学び、そして自然を守り育む百姓として活躍しませんか。

講座は、農業に関わる環境を理解する「座学」、技術を学ぶ「実践」で構成されています。この他、講座以外の日常的な作業から、より即戦力を身につけ農業の達人を目指します。

【募集要項】

対象：援農活動や就農など、農業に関わりたいと考えている方

定員：20名（先着順）

会場：犬山里山学センターおよび近隣水田

受講料：4,000円（資料代・通信料）

申込み：はがき・FAX・メールにて 名前
生年月日 住所 電話番号 メ
ールアドレス 受講動機を記載して問
合せ先まで送ってください。

申込み〆切：平成19年4月30日(当日必着)

【問合せ先】

詳しくは以下にお問合せ下さい

NPO法人 犬山里山学研究所
(担当：日比野)



住所：〒484-0094

愛知県犬山市大字塔野地字大畔364-2

犬山里山学センター気付

TEL&FAX：0568-65-2300

E-mail：satoyama@inuyama.net

ホームページ：http://www.inuyama.net/~satoyama

後援：犬山市

NPO法人グラウンドワーク東海 NPO法人いぬやま e-コミュニティネットワーク

主催：NPO法人 犬山里山学研究所

INUYAMA INSTITUTE for SATOYAMA SCIENCES

農業塾 スケジュール予定

	座学	実践	座学内容
	10:00-12:00	13:00-16:00	
4月 4/30 下旬	申込み〆切	苗づくり・田んぼの準備*	田越しに参加できる場合は、申込み時にご一報ください。
5月 5/13 下旬	農業塾 農文化と田んぼの役割	田植えの準備 水入れ・代かき*	農業を通じて人が自然とどう関わってきたか。また、田んぼが自然にどのような役割を果たすのかを学びます。
6月 上旬	農業塾 田植え		*第2回は座学はありません。
中旬	農業塾 中間管理(その1) 除草・病虫害対策・水管理		*第3回は座学はありません。
7月 上旬	農業塾 田んぼの生き物調査	中間管理(その2) 追肥・除草	田んぼに棲んでいる生き物を調べ、田んぼと生物の関わりを学びます。
中旬		中干し*	
8月 中旬	農業塾 百姓先輩に聞く 生産～加工～販売まで	稲穂の観察	生産だけではなく、加工や販売までを手がける百姓の先輩から学びます。工夫や喜びをお聞きします。
9月 上旬		落水開始*	
上旬	農業塾 竹林と農のつながり 農・竹林・雑木林	竹林整備、はざ掛けづくり	昔から農作業に竹材を利用してきました。農業と身近な竹林や雑木林との関係を学びます。
下旬	農業塾 稲刈り・はざ掛け		*第6回は座学はありません。
10月 上旬		脱穀・精米*	
下旬	農業塾 収穫祭(オーガニック料理)	【座学】 就農フォローアップ	【収穫祭】オーガニック料理で収穫を分かち合います。 【座学】「就農するためには？」について学び、今後の方向を探ります。

【開催日について】

■ が農業塾の講座予定です(全8回・土曜または日曜開催)
* が日常的な作業予定です(塾生と指導者にて応相談)
なお、開催日程は天候等の状況により変更する場合があります。

【お知らせ】

- ・ 服装は作業着、帽子、長靴(一般用・田植え用)、持ち物は昼食、飲料等を持参してください。
- ・ 軍手、カマ等の身近な道具は持参をお願いすることがあります。
- ・ 収穫されたお米は農業塾運営費に利用します。

<オプション講座>

遊休農地開拓プロジェクト

遊休農地を開拓します。復田方法や環境チェック方法等を学びながら実践します。

ボランティアスタッフ同時募集中
(農業経験者)